2021 年改訂版 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン 初版～2022.12.20 更新版　正誤表

記載に誤りがありましたので，下記のとおり訂正し，お詫び申しあげます。(2026.6.20)

訂正箇所	誤	正
P. 13　右段　3 行目	Minds 診療ガイドライン作成の手引き	Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017
P.14　表 3, 表 4 出典の文献番号	2)	4)
P. 18　右段　5 行目	体重あたり 3.5 mL/min	体重 1 kg あたり 3.5 mL/min
P. 20　表 6　最下段	血圧反応や虚血の	血圧反応の評価や虚血の
P. 26　表 13　最下行	プレフレイルと判断する.	プレフレイルと診断する.
P. 39　表 26　第 6 項推奨文	低リスクでは	低リスク例では
P. 43　表 29　第 1 項の前に推奨事項を追加		安定狭心症患者に対して，禁忌でないかぎり包括的心臓リハビリテーションを行う. I，B，B，II
P. 47　表 35　第 4 項推奨文	左室駆出率が維持された心不全	左室駆出率の保たれた心不全
P. 47　右段　12 行目	有する患者，年齢や	有する患者でも，また年齢や
P. 50　右段　「a. 離床開始基準」の 1 行目	日本集中治療学会	日本集中治療医学会
P.50　表 39	6．安静時の呼吸困難や頻呼吸（呼吸回数30/min未満）.	6．安静時の呼吸困難や頻呼吸（呼吸回数 30/min を超える）.
P. 54　項目見出し「6. 不整脈, デバ植込み後」の下に追加		※本項での「デバイス」は植込み型心臓電気デバイス（cardiac implantable electronic device: CIED）を指す。
P. 54　表 43　第 4 項推奨文	運動療法の禁忌に該当する	運動療法が禁忌となる
P. 57　表 44　タイトル	デバイス植込み後の患者	デバイス植込み後の心不全患者
P. 57　表 44　脚注を追加		デバイス : 植込み型心臓電気デバイス
P. 59　表 45　タイトル	不整脈治療デバイス（ICD, CRT-P/CRT-D）植込み後の	デバイス植込み後の心臓リハビリテーションプログラ

	心臓リハビリテーションプログラム	ム
P. 59　表 45　脚注を追加		デバイス：植込み型心臓電気デバイス
P. 75　表 64　第 5 項推奨文	6 分間歩行距離試験	6 分間歩行試験
P. 79　左段　2 行目	おおむね維持期に準じる	おおむね回復期に準じる
P. 89　右段　2 行目	(健常時体重	＝（健常時体重
P. 90 「1.3 栄養評価ツール」の 4 行目と 5 行目、および以下の本文中	NMA	MNA
P. 92　左段　下から 9 行目	50～69 歳は…，70 歳以上は	50～64 歳は…，65 歳以上は
P. 92　表 80　4 行目と 5 行目	50～69 歳 70 歳～	50～64 歳 65 歳～
P. 92　表 80　「4）脂質管理」の②	ω-3 系多価不飽和脂肪酸 青魚・エゴマ油を選ぶ	ω-3（*n*-3）系多価不飽和脂肪酸 青魚を選ぶ
P. 93 「2.4.2 ω-3 系多価不飽和脂肪酸」 1 行目	ω-3 系多価不飽和脂肪酸（αリノレン酸，エイコサペンタエン酸〔EPA〕，ドコサヘキサエン酸〔DHA〕）はえごま油，魚油 546)に代表される	ω-3 系（「*n*-3 系」とも表記される）多価不飽和脂肪酸（αリノレン酸，エイコサペンタエン酸〔EPA〕，ドコサヘキサエン酸〔DHA〕）は魚油 546)に代表される
P. 94 「2.7 食塩」の 1～2 行目	(＝食塩相当量として 6.0 g) 以下	(＝食塩相当量として 6.0 g) 未満
P. 95　表 81　第 6 項推奨文	(1 日 6 g 以下)	(1 日 6 g 未満)
P. 96 「3.5 体重管理」の 1 行目	心不全再発	心不全急性増悪
P. 96　右段　最下行	が望まれる 531, 544).	が望まれる 188a, 531).
P. 106　表 91 「身体不活動」の「診断基準」	エネルギー消費量が 1.5 MET 以下のすべての覚醒行動	エネルギー消費量が 1.5 MET以下の座位や臥位での覚醒行動の時間が長い
P. 111　表 95　著者名と報告年	後藤，2007 年	後藤，2009年